

海の思い出を守るため

海の楽しさ、命の大切さを伝えていく

今年も海水浴のシーズンを迎えます。プールとは違った大自然の中での水遊びは、波の流れを感じたり、海の生き物を発見したり、誰にとっても夏の楽しい思い出になります。

一方、水辺でのレジャーには注意が必要です。市内の水難事故は年間10件程度で推移しており、死亡事故も発生しています。

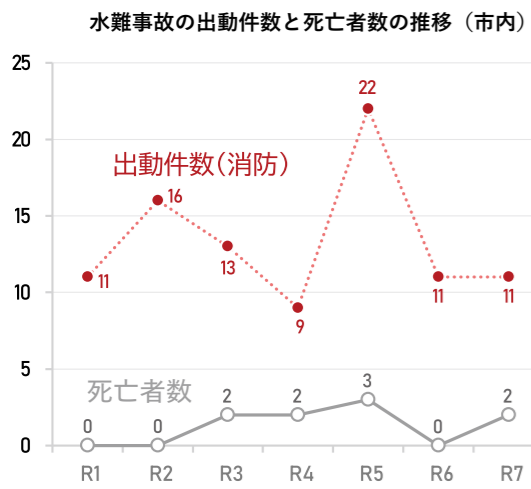
水難事故は海、川、池、堤など、さまざま

さまざまな場所で一年を通して発生する可能性がありますが、海でのレジャー中の事故が最も多く、特に海水浴シーズンが終了した後など、監視の目が届かない場合に発生しやすい傾向があります。大人が巻き込まれるケースも少なくなく、泳ぎに自信がある方でも油断は禁物です。

市は海水浴期間中、全地区に監視員を、勿来海水浴場、久之浜・波立海水浴場の2か所にライフセーバーを配置していますが、一人一人の心がけが命を守る行動に直結します。

本特集では、海の安全を守るとともにその楽しさを伝えるライフセーバーの方にお話しを伺い、水難事故に遭わないためのポイントを教えてもらいました。

正しい知識を身に付け、楽しい夏を過ごしましょう。



水難事故から命を守るために

ライフジャケットを正しく着用する



年齢に関わらず、ライフジャケットを着用しましょう。着用することで、万が一流された場合でも沈むことがなく、溺れることを防ぎます。

自分の体型に合ったものを選び、ゆるみがないよう、正しく着用しましょう。救助の際、見つけてもらいやすくするために、目立つ色のライフジャケットがおすすめです。

溺れている人を発見しても、泳いで助けに行かない

溺れている人を助けようと、自分も水に入るのは危険です。監視員やライフセーバーに救助を要請するとともに、次まで通報してください。

いわき市消防本部 ☎119 / 海上保安庁 ☎118



そのほか、こんなポイントがあります！



飲酒したら絶対に入らない



こまめに休憩&水分補給



遊泳禁止エリアには近づかない

7/18(土)～8/16(日) 海水浴場オープン！

- 場所 勿来海水浴場、薄磯海水浴場、四倉海水浴場、久之浜・波立海水浴場
- イベント 7/18(土)10時から各海水浴場にて海開き式を開催(メイン会場は四倉海水浴場)
- 遊泳情報 海水浴期間中、毎日10時30分頃に遊泳の可否について公表します。

いわき市総合観光案内所公式X▶



「水の事故0」を目指して

一般社団法人福島県ライフセービング協会 理事長 中本 恵子さん

2018年から市内で活動を開始し、今年で9年目になります。救助はもちろんのこと、水辺での事故を未然に防ぐことを目的に、現在は県内各地に範囲を広げ、相双地区や猪苗代湖などでも安心を支えています。最近では、トライアスロンに出場する選手が私たちの活動に参加するなど、海を楽しむだけでなく守る活動に興味を示す方も増えています。

私たちが目指すのは「水の事故0」です。子どものうちから安全な水遊びの方法について学んでもらうため、毎月、新舞子ハイツで、子ども向けの命を守る水泳教室も開いています。「危険だから遊べない」ではなく、安全に水を楽しむ方法を伝えていきたいです。

